

# おうちで博物館ぬりえ かいせつ

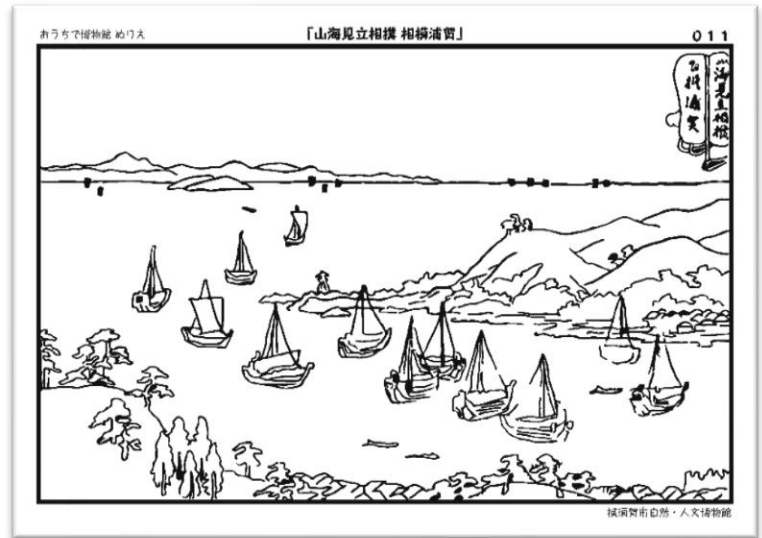
## 【011 山海見立相撲 相模浦賀】

**解説**：このぬりえの元は、江戸時代後期の絵師・歌川広重（1797-1858）による「山海見立相撲」のひとつです。江戸時代の浦賀湊（現在の横須賀市浦賀）の様子を描いています。

**展示**：浦賀に関する展示は、人文館2階「近世・近代の横須賀・浦賀」のコーナーで見られます。

**対象**：大人向け。

**コツ**：湊（港）に出入りする船や燈明堂（灯台の役割をした建物）、対岸に望む房総半島などが描かれています。なお、この絵が描かれたころの浦賀は、東浦賀村と西浦賀村に分かれており、画面手前の家々は東浦賀村、その対岸にある家々は西浦賀村のものでした。



ぬりえ図案「山海見立相撲 相模浦賀」（実際はA4判）



山海見立相撲 相模浦賀（歌川広重画）